

第43回中央委員会、新型コロナウイルスが猛威を振るう中 「緊急特例措置規定」の基にオンラインによるリモート開催!



東京都大田区蒲田
5の10の2
全日本港湾労働組合機関紙
(組合員の購読料は
組合費の中に含む)
発行責任者
松永英樹



2月1日〜2日愛知県豊橋市「シーパレスリゾート」において、第43回中央委員会を開催しました。コロナ禍に伴う「緊急特例措置規定」の賛成多数を受けて、中央委員会の成立を確認した。



第43回中央委員会では各地方・支部とリモートで結び質問があれば画面を切り替えて質問、意見をうけ答弁する形がとられた。主立った質疑は①検数関係・指定事業体関

係、②能代闘争関係、③石炭火力問題、④トラック・バス・タクシ関係、⑤雇用保障闘争関係、⑥議員懇談会関係と、多岐にわたる多くの質問意見が提起されました。その後各地方本部より春闘要求額、日程、各地方独自の付帯要求の発表があり中央執行委員会に取りまとめ、総括答弁にてまとめを行った。

に感染させてしまう方がもつとつらい、だから私は方が一の感染に備え、いち早く感染を自らが早く知るために今年に入りすでに5回のPCR検査を実施して自らの感染状況を把握しています。2020年の春から始まったコロナ禍の現状、こんなに長引くと誰が想像したでしょうか?

は、組合員の皆さんのご協力によるリモートでの開催となります。おそらく2年続いているコロナ禍での春闘、なれない交渉形態をとらざるを得ない状況は、もう少しの間、耐えなければならぬ。そして、今、私たちにできる最大限の事を一つ一つ築き上げ、決して諦めたり、甘んじたりすることなく、全港湾の春闘を闘い抜いて、再度、通常の大衆議論を進めることができると確信していることを申し上げ、挨拶いたします。よろしくお願いたします。

①検数関係・指定事業体関係にてまとめを行った。

第43回中央委員会にリモート参加している中央委員の皆さん、ご苦勞様です。中央委員会開催にあたり、中央執行委員会を代表し挨拶をいたします中央執行委員長の真島です。

に感染させてしまう方がもつとつらい、だから私は方が一の感染に備え、いち早く感染を自らが早く知るために今年に入りすでに5回のPCR検査を実施して自らの感染状況を把握しています。2020年の春から始まったコロナ禍の現状、こんなに長引くと誰が想像したでしょうか?

は、組合員の皆さんのご協力によるリモートでの開催となります。おそらく2年続いているコロナ禍での春闘、なれない交渉形態をとらざるを得ない状況は、もう少しの間、耐えなければならぬ。そして、今、私たちにできる最大限の事を一つ一つ築き上げ、決して諦めたり、甘んじたりすることなく、全港湾の春闘を闘い抜いて、再度、通常の大衆議論を進めることができると確信していることを申し上げ、挨拶いたします。よろしくお願いたします。

最初に、今回の中央委員会も昨年に引き続き、このような状態で開催しなければならぬ状況を非常に残念に思っています。

昨年9月の定期大会でも、発言しましたが、私は、コロナという伝染病の感染は誰のせいでもない、だから私自身が無感染したとしてもしょうが無く考えています。しかし、私の感染によって、周囲

に感染させてしまう方がもつとつらい、だから私は方が一の感染に備え、いち早く感染を自らが早く知るために今年に入りすでに5回のPCR検査を実施して自らの感染状況を把握しています。2020年の春から始まったコロナ禍の現状、こんなに長引くと誰が想像したでしょうか?

は、組合員の皆さんのご協力によるリモートでの開催となります。おそらく2年続いているコロナ禍での春闘、なれない交渉形態をとらざるを得ない状況は、もう少しの間、耐えなければならぬ。そして、今、私たちにできる最大限の事を一つ一つ築き上げ、決して諦めたり、甘んじたりすることなく、全港湾の春闘を闘い抜いて、再度、通常の大衆議論を進めることができると確信していることを申し上げ、挨拶いたします。よろしくお願いたします。

労働運動、労働組合の基本は顔を合わせ互いに議論を交わしながら進めていくことが極めて重要であると理解しています。

コロナ禍での春闘、労働組合、労働組合幹部の力量が試される2022年春闘です。苦しい状況であるが故に、現状の賃金や労働条件、作業環境を引き上げていくことが労働組合幹部の使命です。

こんな時代だからこそ、何を最優先課題とするのか、当面は新型コロナに向かい合いながら運動を進らせていく方向性を見出し、全国の仲間と共有していかなければなりません。

は、組合員の皆さんのご協力によるリモートでの開催となります。おそらく2年続いているコロナ禍での春闘、なれない交渉形態をとらざるを得ない状況は、もう少しの間、耐えなければならぬ。そして、今、私たちにできる最大限の事を一つ一つ築き上げ、決して諦めたり、甘んじたりすることなく、全港湾の春闘を闘い抜いて、再度、通常の大衆議論を進めることができると確信していることを申し上げ、挨拶いたします。よろしくお願いたします。

労働組合の基本的な状況は、中央執行委員会を代表し挨拶をいたします中央執行委員長の真島です。

昨年9月の定期大会でも、発言しましたが、私は、コロナという伝染病の感染は誰のせいでもない、だから私自身が無感染したとしてもしょうが無く考えています。しかし、私の感染によって、周囲

に感染させてしまう方がもつとつらい、だから私は方が一の感染に備え、いち早く感染を自らが早く知るために今年に入りすでに5回のPCR検査を実施して自らの感染状況を把握しています。2020年の春から始まったコロナ禍の現状、こんなに長引くと誰が想像したでしょうか?

は、組合員の皆さんのご協力によるリモートでの開催となります。おそらく2年続いているコロナ禍での春闘、なれない交渉形態をとらざるを得ない状況は、もう少しの間、耐えなければならぬ。そして、今、私たちにできる最大限の事を一つ一つ築き上げ、決して諦めたり、甘んじたりすることなく、全港湾の春闘を闘い抜いて、再度、通常の大衆議論を進めることができると確信していることを申し上げ、挨拶いたします。よろしくお願いたします。

真島委員長

第43回中央委員会挨拶要旨

第43回中央委員会にリモート参加している中央委員の皆さん、ご苦勞様です。中央委員会開催にあたり、中央執行委員会を代表し挨拶をいたします中央執行委員長の真島です。

に感染させてしまう方がもつとつらい、だから私は方が一の感染に備え、いち早く感染を自らが早く知るために今年に入りすでに5回のPCR検査を実施して自らの感染状況を把握しています。2020年の春から始まったコロナ禍の現状、こんなに長引くと誰が想像したでしょうか?

は、組合員の皆さんのご協力によるリモートでの開催となります。おそらく2年続いているコロナ禍での春闘、なれない交渉形態をとらざるを得ない状況は、もう少しの間、耐えなければならぬ。そして、今、私たちにできる最大限の事を一つ一つ築き上げ、決して諦めたり、甘んじたりすることなく、全港湾の春闘を闘い抜いて、再度、通常の大衆議論を進めることができると確信していることを申し上げ、挨拶いたします。よろしくお願いたします。

第43回中央委員会総括答弁

真島委員長

昨日今日の活発な討論、大変ありがとうございました。各地方の意見を受けて先程の中央執行委員会の中で次のように確認致しました。

に感染させてしまう方がもつとつらい、だから私は方が一の感染に備え、いち早く感染を自らが早く知るために今年に入りすでに5回のPCR検査を実施して自らの感染状況を把握しています。2020年の春から始まったコロナ禍の現状、こんなに長引くと誰が想像したでしょうか?

は、組合員の皆さんのご協力によるリモートでの開催となります。おそらく2年続いているコロナ禍での春闘、なれない交渉形態をとらざるを得ない状況は、もう少しの間、耐えなければならぬ。そして、今、私たちにできる最大限の事を一つ一つ築き上げ、決して諦めたり、甘んじたりすることなく、全港湾の春闘を闘い抜いて、再度、通常の大衆議論を進めることができると確信していることを申し上げ、挨拶いたします。よろしくお願いたします。

一要求については賃金引上げ要求一本でいきます。

基本給一律20,000円引き上げ、この要求にさせて頂きます。なお日程については既に議案書に記載の通り、要求提出をおこなった後に第1回の統一回答指定日3月15日を中心集中交渉を3月15日から18日、その間突き上げ交渉等々含めて、全体の賃上げ状況を確認する為に今年3月24日から25日中央闘争委員会を開催して全体的状況の把握並びに最終的な山場の設定に向けて議論して

に感染させてしまう方がもつとつらい、だから私は方が一の感染に備え、いち早く感染を自らが早く知るために今年に入りすでに5回のPCR検査を実施して自らの感染状況を把握しています。2020年の春から始まったコロナ禍の現状、こんなに長引くと誰が想像したでしょうか?

は、組合員の皆さんのご協力によるリモートでの開催となります。おそらく2年続いているコロナ禍での春闘、なれない交渉形態をとらざるを得ない状況は、もう少しの間、耐えなければならぬ。そして、今、私たちにできる最大限の事を一つ一つ築き上げ、決して諦めたり、甘んじたりすることなく、全港湾の春闘を闘い抜いて、再度、通常の大衆議論を進めることができると確信していることを申し上げ、挨拶いたします。よろしくお願いたします。

一要求については賃金引上げ要求一本でいきます。

基本給一律20,000円引き上げ、この要求にさせて頂きます。なお日程については既に議案書に記載の通り、要求提出をおこなった後に第1回の統一回答指定日3月15日を中心集中交渉を3月15日から18日、その間突き上げ交渉等々含めて、全体の賃上げ状況を確認する為に今年3月24日から25日中央闘争委員会を開催して全体的状況の把握並びに最終的な山場の設定に向けて議論して

に感染させてしまう方がもつとつらい、だから私は方が一の感染に備え、いち早く感染を自らが早く知るために今年に入りすでに5回のPCR検査を実施して自らの感染状況を把握しています。2020年の春から始まったコロナ禍の現状、こんなに長引くと誰が想像したでしょうか?

は、組合員の皆さんのご協力によるリモートでの開催となります。おそらく2年続いているコロナ禍での春闘、なれない交渉形態をとらざるを得ない状況は、もう少しの間、耐えなければならぬ。そして、今、私たちにできる最大限の事を一つ一つ築き上げ、決して諦めたり、甘んじたりすることなく、全港湾の春闘を闘い抜いて、再度、通常の大衆議論を進めることができると確信していることを申し上げ、挨拶いたします。よろしくお願いたします。

一要求については賃金引上げ要求一本でいきます。

基本給一律20,000円引き上げ、この要求にさせて頂きます。なお日程については既に議案書に記載の通り、要求提出をおこなった後に第1回の統一回答指定日3月15日を中心集中交渉を3月15日から18日、その間突き上げ交渉等々含めて、全体の賃上げ状況を確認する為に今年3月24日から25日中央闘争委員会を開催して全体的状況の把握並びに最終的な山場の設定に向けて議論して

に感染させてしまう方がもつとつらい、だから私は方が一の感染に備え、いち早く感染を自らが早く知るために今年に入りすでに5回のPCR検査を実施して自らの感染状況を把握しています。2020年の春から始まったコロナ禍の現状、こんなに長引くと誰が想像したでしょうか?

は、組合員の皆さんのご協力によるリモートでの開催となります。おそらく2年続いているコロナ禍での春闘、なれない交渉形態をとらざるを得ない状況は、もう少しの間、耐えなければならぬ。そして、今、私たちにできる最大限の事を一つ一つ築き上げ、決して諦めたり、甘んじたりすることなく、全港湾の春闘を闘い抜いて、再度、通常の大衆議論を進めることができると確信していることを申し上げ、挨拶いたします。よろしくお願いたします。

一要求については賃金引上げ要求一本でいきます。

基本給一律20,000円引き上げ、この要求にさせて頂きます。なお日程については既に議案書に記載の通り、要求提出をおこなった後に第1回の統一回答指定日3月15日を中心集中交渉を3月15日から18日、その間突き上げ交渉等々含めて、全体の賃上げ状況を確認する為に今年3月24日から25日中央闘争委員会を開催して全体的状況の把握並びに最終的な山場の設定に向けて議論して

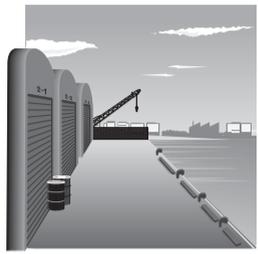
に感染させてしまう方がもつとつらい、だから私は方が一の感染に備え、いち早く感染を自らが早く知るために今年に入りすでに5回のPCR検査を実施して自らの感染状況を把握しています。2020年の春から始まったコロナ禍の現状、こんなに長引くと誰が想像したでしょうか?

は、組合員の皆さんのご協力によるリモートでの開催となります。おそらく2年続いているコロナ禍での春闘、なれない交渉形態をとらざるを得ない状況は、もう少しの間、耐えなければならぬ。そして、今、私たちにできる最大限の事を一つ一つ築き上げ、決して諦めたり、甘んじたりすることなく、全港湾の春闘を闘い抜いて、再度、通常の大衆議論を進めることができると確信していることを申し上げ、挨拶いたします。よろしくお願いたします。

(1面から続く)
 要求含めて、一緒に全国港湾としても闘って下さいと申し入れていきたいと思っておる次第であります。
 あと、全国闘争の関係で言ったら、私はもうひとつあるのは日興サービスの問題です。もうそろそろこの春闘でこれこそ決着しなければならぬ問題だというふうには思っています。

日協協会は港で脱法行為、偽装請負をして労働者を雇用していた、そのことはこれも港の港湾秩序を破壊する行為です。はつきり言って全港湾には日協の労働者もいます、全日協の労働者もいます、日興サービスの労働者もいます。結局そうやって、そのことが料金ダンピングに繋がって最終的には私は、検査労働者の地位がどんどん低下していると思う。そこは歯止めをかける必要があります。能代運輸で働いている労働者、そして日興サービスで働いている労働者、別にその人が悪いとは思いません。その人達の上に立つ経営者が悪い。あまりにもダメだ。そこはやっぱり正すような運動をしなければなりません。決して私は、労働者同士で叩きあいをするべきではないという事を申し訳ありませんが、この場を借りて申し上げたいと思っています。

昨日今日、活発な議論という事で総括答弁になっているか、なっていないかわかりませんが、皆さんの昨日今日の発言、非常にありがたい



ございました。

「井の中の蛙です、あなたは」視野が狭いという事を言う怒られますけども、井の中の蛙、大海を知らず、ここで切っちゃうと非常に港の自分とこの事だけ言っているのこのことというふうには捉えられないかもしれませんけども、この詩には続きがあります。

井の中の蛙、大海を知らず、されど空の深さを考える、という事です。何が言いたいかといいますと、まず自分の港、自分の地方という世界を突き詰めていかないと全体的な日本の港湾等々、真の部分を考えることができません。だから皆さんは、まずおらが港、おれの地方のことを真剣に考えて中央委員会、あるいは全国大会で活発な議論をして頂きたい。たぶん労働組合として、意見が全然出ないと思ってしまう、昨日今日見ているとまだまだ全港湾、捨てたものじゃないぞというふうな思っています。まともになっているかどうか分かります。以上をもって総括答弁とさせていただきます。よろしくお願い致します。

全国港湾

第14回中央委員会開催

全国港湾は、2月8日豊橋 染拡大の状況から各単組・地区選出の中央委員とオンライン形式によるリモートでの第14回中央委員会を開催しました。議長団に佐藤中央委員、急特例措置規定」を適用し、新型コロナウィルス感



議事録の要約部分。議程、議決事項、および関係書類の目録が記載されている。

第1回 中央港湾団交開催



権行使書による意見を求め、第1号議案(21年秋年末闘争経過)、第2号議案(22春闘方針案並びに要求書)について審議された。
 審議では、事前に9名の中央委員から12の課題について事前提案され、議案提案の中核の状況から全国港湾中央

執行委員及び事務局のみの出席とし、当日「2022年度産別労働条件および産別協定の改定に関する要求書」を提出することを確認した。
 以上
 要求趣旨説明では、港湾物流と港湾労働の社会的価値が注目されているが、相応しい労働環境と労働条件なのか、エッセンシャルワーカーとあるが、現場で頑張っている労働者にどう賃上げするか、現場の苦勞に報いるのが前提の趣旨である。昨今の船社は莫大の利益を上げている、配当は増えているが、配る先が違っているのか、エッセンシャルワーカーの平均賃金は32万と言われている、港湾は25万低い、現場の労働者は感染不安を抱えながら働いている、その頑張りには報いるべき、しっかり回答して頂きたいと前置きし、6項目に関する趣旨説明を行い、更に「産別協定・フェリー協定等の履行などに係わる諸課題に関する要求書」も提出し、趣旨説明を行った。
 以上